

実施日：11月24日（2校時）	
領 域：特別の教科 道徳	
取組名：ぼくの名前 （兵庫県人権教育資料「ほほえみ」）	
対 象：4年生	実施場所：4年生教室
ア ねらい 名前は自分の存在を表す大切なものであることに気づき、自分自身を肯定的に捉えようとする心情を育てる。	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 知っている世界の国を発表する。 ・ 自分の名前の由来について発表する。 ・ 資料を読んで、「ぼく」につけられた「二つの名前」について考える。 ・ ベトナムの名前にもどすことに決めた「ぼく」の気持ちについて考える。 ・ ベトナムの名前にもどしてからの「ぼく」の生き方について考える。 	
ウ 連携先：家庭	
エ 連携にむけての取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 通信を利用してこの取組を多くの方に伝える。 ・ 授業を終え、帰宅後に、自分の名前にどんな願いが込められているのかを親から聞く。 	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点 <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童は2年生の生活の時に「自分の生き立ち調べ」で名前の由来について保護者にインタビューをして、確認している。今回は2年前をふり返るきっかけを作ることができる。 ・ 多様な意見が出るように個々の考えを否定せず、しっかり聞く時間を確保する。 ・ 発表前に、机間観察を行い、多様な意見が出るように個々の考えを把握し、発表させる。 	
カ 評価の方法 ワークシート	
キ 成果 読み聞かせを行ったり、動画を見せたりすることで、世界には様々な国があり、その中でいろいろな人がいること、伝統・文化があることに気づかせることができた。また、名前は自分の存在を表す大切なものであることに気づき、2年生で学習した「自分の名前の由来」に対して再び関心を持たせることができた。そのことによって自分がかげがえのない存在であることを改めて実感し、自分を大切にしようとする心を育てることができた。	
ク 課題 学習の前半部分に時間を割いてしまい、最も深めたい部分で時間が足りなくなってしまった。後半部分の時間にゆとりがあり、もっと主人公の生き方について児童の考えを全体で共有し深めることができたら、さらに名前のおお切さ、郷土愛についても考えさせることができたと思う。	